

2016年度教育実習を

横浜市立の中学校で希望している方へ

横浜市教育委員会より、教育実習の受け入れに関わる手順について、次のとおり連絡が来しました。
対象者は、以下のとおり手続きを進めてください。

対象：横浜市立の中学校での教育実習を希望する方

(2015年2月中) **ステップ1** 大学に必要書類を申請し、受け取る

横浜市教育委員会の決まりで、実習希望校に受入れ依頼の面接をするために必要な書類(校長面接依頼書等)があります。

2015年2月中に大学(教職・資格担当。58年館1階。多摩と小金井は各学部事務窓口)に申請し、書類(①「教育実習面接依頼書」、②「麻しんの罹患歴及び予防接種歴記載書」)を受領してください。2月中が難しい場合は、あらかじめ電話でご相談ください。

大学に書類を申請するまでの間、以下の情報をあらかじめまとめておいてください。

- (1) 実習希望校の名前
- (2) 実習希望教科
- (3) 実習希望時期(「第1期:概ね5月～7月」か「第2期:概ね9月～11月」のいずれか) ※

※希望が通るとは限りません。実習日程は中学校が決定します。

- (4) 麻しんの罹患歴及び予防接種歴

※ステップ3までに、麻しんの抗体があることを確認しておく必要があります。母子手帳や予防接種証明書では麻しんの予防接種歴が、麻疹罹患証明書では麻しんの罹患歴が、検査報告書では麻しんの抗体の有無が、それぞれ確認できます。抗体がない場合は、至急、外部の医療機関で予防接種を行う必要があります。抗体が確認できない場合、実習校との面接ができませんので、よく確認してください。

ご不明な場合は教職・資格担当(多摩と小金井は各学部事務窓口)にお尋ねください。

(2015年2月中) **ステップ2** 校長面接時に必要な書類を全て揃える

- (1) 教育実習受入承認書(2015年1月の教育実習内諾書配布ガイダンスで受領した書類)
- (2) 切手を貼付した返信用封筒(表面に自分の氏名と住所を記入し、92円分の切手貼付)
- (3) 中学校校長が指定したもの(必要な場合のみ。ステップ3で実習校に確認してください)
- (4) ステップ1で入手した「教育実習面接依頼書」(大学が作成)
- (5) ステップ1で入手した「麻しんの罹患歴及び予防接種歴記載書」(入手後に自分で記入)及び、自分が麻しんの抗体を保持していることを証明する書類(母子手帳、予防接種証明書、麻疹罹患証明書、検査報告書のコピー等)

(2015年4月27日～6月30日) **ステップ3** 実習希望校に電話する

直接、横浜市内の実習希望校に電話し、校長先生に横浜市の教員を目指している意思を伝え、校長面接の依頼をして、面接のお約束をとってください。その際、以下の点を必ず確認してください。

- ① その学校で、教育実習の受入れを行っているか。
- ② その学校で、自分が希望する教科が受入れ可能か。
- ③ 自分が希望する実習希望時期が、その学校の実習実施時期と一致しているか(原則、実習校が実習日を決めますので、実習校に従ってください)。

(2015年4月27日～6月30日) **ステップ4** 実習校と校長面接する

ステップ1と2で揃えた書類を持参のうえ、実習校指定の日時に、実習校校長と面接してください(黒髪でスーツ着用)。実習受入の可否を決定する重要な面接です。実習校はみなさんが横浜市の教員になることを前提に教育実習を受け入れていています。誠実で丁寧な受け答えをしてください。

ステップ5 面接結果を確認する

面接の状況を踏まえて、学校長の判断で教育実習の受入れの可否について選考されます。面接の結果は、その場で回答する場合もありますが、回答が後日になる場合もあります。

(2015年6月22日～6月26日) **ステップ6** 大学に教育実習希望者登録をする

<市ヶ谷キャンパス※>

日時： 6月22日(月)～6月26日(金) 9:00～11:30、12:30～17:00

場所： 教職・資格担当窓口(58年館1階)

提出書類： 教育実習内諾書配付ガイダンスにて配付した資料を参照してください。

(※多摩と小金井については、各学部窓口がアナウンスした日時・場所となります)

ステップ7 決定後の手続き

教育実習の事前打ち合わせの日又は教育実習の初日に、受け入れ校校長の指示により「教育実習に関する承諾書」の記入・署名を行います。

2015年2月2日 教職・資格担当
(03-3264-9425)

(多摩と小金井は各学部事務窓口にお問い合わせください)